

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
1	計画の見直しについて	延岡市史刊行計画の見直しは、やむを得ない。市史刊行は市民の大きな宝物であり財産にもなる。少々遅れてもまた変更しても内容を充実し、しっかりとしたものを完成させて欲しい。編さん作業に当たっておられる先生方は大変だと推測します。その御苦勞に感謝を致します。	<p>ご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>市史の編さんは、本市に関する歴史的・文化的価値のある歴史資料の収集・整理を行い、さらに、それらの資料研究等を通して本市の歴史的、文化的な位置を明確にするとともに、編さん過程において、市民の皆様の郷土への関心や愛着が深まることにより、市民共有の財産として後世に継承することを目的としております。本市に関する歴史資料等を悉皆的に収集・整理を行うのは、市制施行後、初めての取組みであり、しっかりと調査・研究を行い、充実した市史の刊行に努めてまいります。</p> <p>なお、これまでにご提供いただいた資料につきましては、「市史だより」や「カルチャーゾーンフェスタ」等の機会を通して資料紹介等を行っており、今後とも継続してお知らせしてまいります。</p> <p>また、講演会や進捗報告会を兼ね市民の皆様の見解を聴く機会も設けております。是非、ご参加ください。</p>
2	計画の見直しについて	新たな資料等により充実した刊行を目指す為に、時間を要し計画が遅れることは、かえって素晴らしい事。充実した市史の完成の為に、拙速にならず、腰をすえて作成して下さい。市民からの資料提供による新事実であれば、更に市民に提供を呼び掛けて、より充実した市史にして頂きたい。資料提供の事例を公表(経過報告等)すれば、更に市民の関心が高まり、情報提供が活発になるのではないかと。	
3	計画の見直しについて	延岡にとって必要な市史の刊行であればと思います。	
4	計画の見直しについて	特にコロナ禍における行動制限による見直しは致し方ないと思います。その期間にも新たな資料が見つかったり、事業費の平準化が図れたのなら、長い目で見ても良かったのではと思います。こんな大事業は今後いつ行われるかわかりません。今できる全てで後世に残る延岡市史を刊行してほしいです。令和18年までまだ年月があり、今後、経費の増加も予想されますが、その都度、市民に報告、意見募集等があると良いと思います。市と市民が様々な考えを共有しながら、令和18年の刊行に向けて歩んで欲しいです。	
5	計画の見直しについて	刊行が延びるのはやむを得ないと思います。	
6	計画の見直しについて	見直し案については、やむを得ないと考えます。市史の内容構成については、編集委員会・専門部会に最終的に委ねるべきであります。ただ史資料の取り上げ方や内容については、どこかで参考意見を聞く機会等を持っていただくと良いと思います。	
7	計画の見直しについて	延岡市史編さん事業、大変なこととお察しいたします。私も80周年市史編さんに従事し、1巻の市史を作るのに、6人がかりで1年半かかりました。それから推して17巻の市史を編さんするのは、いかに大変なことか、思うだけに想像を絶するものがあります。基本的には、この計画で良いと思います。	
8	計画の見直しについて	専門家によって進められていることで、進行状況など全く分かりません。財政上の事も分かりません。市民としては見守る他ないわけですが、できたらオリジナルの延岡市史ができあがることを願ってやみません。もう少し市民とのチャンネルが設けられた方がよいのではないかと。	
9	計画の見直しについて	新型コロナウイルス感染症の影響は、令和2年(2020)時点で、当然、見込まれた事由で、当初の計画が甘かったのではないかと。	<p>令和2年度の事業開始直後から新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりましたが、想定以上に移動制限が長引き、制限解除後も市外での資料調査の予定を立てるのが難しい状況が続きました。その後も資料調査等の実施に力を尽くし、計画通りの進捗を目指してまいりましたが、新出の資料が発見されたことなどにより、このたび計画の変更を提案させていただきました。また、刊行数につきましては、市史編さん事業懇話会やパブリックコメント等で様々なご意見をいただき、検討を行った結果、全17巻の構成としておりので、刊行数は現状のままとさせていただきます。</p> <p>今回の変更により、皆様のご期待に沿えない部分もあるかと存じますが、更にしっかりと進捗を管理しながら、より良い市史を刊行できるよう尽力してまいります。</p>
10	計画の見直しについて	「延岡市史」というものが刊行されることを初めて知った。100周年でびったり終わったほうがキリが良いし、冊数を減らしても良いのではないかと。	
11	計画の見直しについて	刊行計画の遅れは大問題である。延岡市の市制百年に向け、令和2年度より検討の上、計画されており、4年遅れは効果半減と思う。事務局(市教育委員会)のスケジュール管理怠慢では。毎年、毎年の進捗状況管理はなされていたのか？	
12	計画の見直しについて	このような基本計画変更については、直前ではなく、少なくとも1年ほど前に行うべきではなかったかと思えます。基本計画の策定に関わった元市史編さん懇話会の委員に対しては、策定に携わった責任とそれなりの思いがありますので、今後は、事前に計画変更の事情についての説明会を持って頂ければと思います。	
13	計画の見直しについて	率直な感想としては、大幅な計画変更であるから懇話会を開いて説明すべきではないかと思いました。	

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
14	事業費について	市史編さんも大切なことと思いますが、費用をおさえて、低所得者への給付金や支援の費用に少しでも回してほしい。市の他の事業すべてについてお願いしたい。	市史の編さんは、本市に関する歴史的・文化的価値のある歴史資料の収集・整理を行い、市民共有の財産として後世に継承するとともに、その保存と利活用を行うために取り組んでおります。さらに、それらの資料研究等を通して我が国の中での本市の歴史的、文化的な位置を明確にするとともに、編さん過程において、市民の皆様の郷土への関心や愛着が深まることで、文化の向上と市政の発展につなげてまいりたいと考えております。 長期にわたる事業期間と多大な予算を要しますが、費用抑制に努めながら事業を進めてまいります。
15	事業費について	この計画でたくさんの費用がかかることに衝撃を受けた。延岡市民のことを本当に思って考えているのなら、お金を使うところを見直すべきなのではないのか。	
16	事業費について	約6億もの事業費大切にに使っていただきたいと思います。	
17	事業費について	経費を抑制しながら良い市史を作っていただきたいです。	
18	事業費について	刊行には5億9千万円の貴重な市税が予算化されており、費用標準化より、費用は増加しても完成時期を早める方が効果有ると思います。	
19	市史の内容について	将来にわたり延岡のことを調べる研究者、学生、市民が活用できるデータベースの確立を中心に据えた計画であって欲しい。（データの付加・修正が随時行えるのは勿論、体系的で、アクセス、検索が容易なデータベース。）	「延岡市史編さん基本計画」では、その編さん方針で、収集した歴史資料の適切な保存・保管を行い、デジタル化に努めるとともに、体系的なデータベースとしても活用できるよう整理することや、写真や図版等を多く使用し、分かりやすく広く市民に親しまれる市史を編さんすることなどを定めており、今後とも基本計画に沿って、市民の皆様の身近な市史となるよう努めてまいります。
20	市史の内容について	応接間の飾りになってしまう市史ではなく、学校教育の現場で活用される市史になることを願う。	
21	市史の内容について	難しいイメージがあるので、せっかくの郷土史をより広くたくさんの方々の目にとまり、手に取っていただけるよう、分かりやすい言葉、文章であったり、写真・イラストが多いと親しみやすくなるのではと思いました。学校や図書館に置かれることで、社会での授業に役立てるのも、グループ活動で取り組んでみる楽しみに繋がれば良いなあと思います。	
22	市史の内容について	日之影町史の執筆にかかわらせてもらった時に、地元の人との協議、フィールドワーク等によって、重要な手がかりをえました。特に（家庭）日誌、書簡類を扱う場合は、それが必要だと思います。	編さん事業を始めた当初から、歴史資料の滅失や散逸することが危惧されており、「延岡市史編さん基本計画」にも明記したように、危機感をもって編さんにあたっております。また、聞き取りを行う話者の高齢化も大きな問題となっておりますので、今後も、可能な限り迅速に聞き取り調査等を実施してまいります。 また、こうした調査の実施にあたっては、地元の方との協議、フィールドワーク等が必要となっております。市民の皆様には、今後とも様々なご協力をお願いいたします。
23	市史の内容について	急がずに丁寧に資料を調査していただくことを願います。携わっている方々の大変なご苦労があると思います。延岡市史の刊行を心から待っております。ただ少しだけでも早く市史に着手していただけたらとも思いました。92才の母は祖母にいろいろな話を聞けていたらと申しております。月日が経つと記憶も薄れ、いつしか資料などもなくなってしまいます。	
24	市史の内容について	視覚障害の方が読めるような配慮があると喜ばれると思います。	令和元年に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」等の趣旨や目的を踏まえ、検討してまいります。
25	市史の内容について	「別編のビジュアルブック」は、写真集だと思いますので、一番最後が良いのではと思います。その代わりにそれ以外の刊行を急がれた方が良くと思います。	令和14年度が市制施行100周年となります。100周年を記念した「ビジュアルブック」を想定しております。
26	市史の内容について	「民俗編」が令和16年度、「通史編の自然・先史・古代」が令和15年度ですが、入れ替えた方が良いのではと思います。その方が、以後「通史編」3巻の執筆と刊行に専念できると思います。	今回の刊行計画案は、これまでの調査・研究の状況や今後の資料調査の工程、執筆、刊行までを勘案し、延岡市史編集委員会との協議を経て作成しております。なお、「民俗編」は調査対象の特性上、史資料編と通史編を併せ持った内容となっており、通史編と同時期に刊行するよう検討したところです。